

クリーンセンター建設に向けて

～クリーンセンターは、皆さんの日常生活に欠くことのできない施設です。～

建設準備を進めているクリーンセンターは、ごみ量の増加と打越台環境センターの老朽化が深刻な状況であることから、平成28年度中の稼働を目指しています。

今回は木津川市の燃やすごみを処理している打越台環境センターの現状をお知らせし、鹿背山川向地内を候補地として準備を進めているクリーンセンター建設が、本市のまちづくりにおいて、大変、重要な課題であることをお伝えします。

■西部塵埃処理組合

西部塵埃処理組合は、昭和37年8月に、当時の木津町、山城町及び精華町が、燃やすごみを広域で処理するために設置をした一部事務組合です。今後も、両市町が協力して、新クリーンセンターの整備・運営を進めます。

■打越台環境センター

打越台環境センターの施設の概要と状況は次のとおりです。

①施設の概要

- ・場所 精華町大字北稻八間小字打越
- ・処理能力 60t／日(30t×2炉)
- ・処理方式 ストーカ方式
- ・施設稼働 昭和55年4月



老朽化が進む打越台環境センター

②施設の状況～老朽化による設備の損傷が進んでいます～

打越台環境センターは、定期点検をして施設を大切に使ってきましたが、稼働から33年が経過し、設備の老朽化や損傷が著しく、限界状況となっています。

これまで、設備の修繕や補修をおこなって、出来る限り長く利用できるよう、施設の維持管理に努めていますが、いつ緊急停止するか予測できません。

稼働から30年以上経過している同種施設は、全国でも少なくなっていますが、打越台環境センターが設備の故障により緊急停止した場合、再稼動するための部品の調達も大変困難な状態です。

このため、新たなクリーンセンターの一日も早い、建設・稼働を目指しています。

新クリーンセンターの整備について、これまで広報などでお伝えしていますが、クリーンで安心・安全な都市施設として整備することを基本に、生活環境影響調査などの準備を進めています。

クリーンセンター建設に向け、皆さんのご理解とご協力を願っています。